

「火の路」の幻視行

一昔前の日本の家屋は竈（かまど）を持っていた。竈のことを巷の人はサラマンドラと言った。サラマンドラとは、火を窓いながら太陽の中に棲む火喰鳥のことで、その皮は石綿（アスベスト）で出来ているらしい。

生前、奈良の明日香村に飛んだ松本清張は、今なお残る丘の上の巨大な猿石や酒船石が何処から運ばれて来たのかと推理して、遠いペルシャの国に眼を付けた。石人像の顔はどう見ても日本人ではない。朝鮮人でもない。中国人でもないからだった。かってシルクロードの商人として東奔西走したペルシャ人だったが、それを遙か遡る時代、古代ペルシャの広い信仰を集めたゾロアスター教（拝火教）の聖なる火と、火が発する言葉が、日本の仏教に入ってきたのだ。古代ペルシャの瑠璃碗や古墳など正倉院を開ければ一目瞭然のこともある。

人を陶酔させる葉草種ハオマ酒を飲んで、神との会話を可能にする「ハオマの密儀」というゾロアスター教の儀式は、今も日本の多くの寺に残る密教の護摩焚きの火として残されている。また仏閣に多く見られる蓮の花が放射した模様は、ゾロアスター教の神太陽の放射図を模して仏教の国に入って来たものようだ。

遠い記憶を辿ると、ペルシャと飛鳥を結ぶ路があった。火と火を結ぶ路、その路を松本清張は「火の路」と名付けた。

田中 泯



Min Tanaka

【ダンサー/俳優】1945年東京生まれ。78年、身体気象研究所を創設、舞踊団「舞塾」を結成。85年、山梨県白州町に「身体気象農場」開設、農業と舞踊の同時実践を開始。97年山梨県甲斐市に「舞踊資源研究所/桃花村」を設立後、「桃花村舞踊団」「農事組合法人桃花村」を同時結成する。05年、場の創設として甲府市の「桜座」復活に参画。90年フランス政府より芸術文化騎士章、西ドイツ・ミュンヘン演劇祭最優秀パフォーマンス賞を受賞。02年映画『たそがれ清兵衛』に出演。日本アカデミー賞最優秀助演男優賞と新人賞受賞、キネマ旬報新人賞受賞。07年NHK土曜ドラマ「ハゲタカ」出演。現在全国各地で「場踊り」を展開中。

姜 泰 煥



Kang Tae Hwan

【アルトサクソ奏者】1944年生まれ。サクソ奏法におけるマルチフォニックと循環呼吸奏法の先駆的至宝。東洋的な伝統スケールを織り込んだインプロヴィゼーションにてその存在を知られる。20代にしてビッグバンドの韓国最年少リーダーとなり、78年、金大煥 (perc)、崔善培 (tp) と韓国初のフリージャズ・グループを結成。このトリオでサムルノリ、ソウル交響楽団、韓国の民族舞踊等と共演。度々来日し、山下洋輔、佐藤允彦、高田みどり、高橋雅彦、吉沢元治、大友良英、おおたか静流、さかゆき、エヴァン・パーカー、ジョン・ゾーン等と共演。02年、韓国にて林在千 (perc)、美妍 (p) とレギュラーグループを結成。

【ピアニスト/作曲家】1938年、東京生まれ。学生時代には柴田南雄、小倉朝に作曲を学び、大賦の才を見せる。63年より66年、ヨーロッパでヤニス・クセナキスに協力。78年「水牛楽団」を組織してアジアの抵抗歌を演奏。ピアノとコンピュータによる即興演奏、日本の伝統楽器と声のための作曲等展開。2006年、ニューヨークの現代芸術財団から助成金を授与されている。著書多数。



Yuji Takahashi

高橋 悠 治



Yoshihide Otomo

【ギタリスト/作曲家】1959年福島県生まれ。世界各地でのコンサートやレコーディング等、常にインディペンデントなスタンスで活動。映画音楽家としても、中国/香港映画を中心に数多くのサウンドトラックを手がけ、ベルリンをはじめとした多くの映画祭で受賞。ノイズやカット・アップ等を用いた大量の作品から、音響の発生そのものに焦点をあてた作品へと作風を変化させている。電子音響系プロジェクト「Filament」で徹底した脱メモリー音楽を指向する一方、伝統楽器とエレクトロニクスによるアンサンブル「Cathode」や、60年代のジャズを今日的な視点でよみがえらせる「大友良英 New Jazz Quintet」等をスタート。

大友 良 英

【コントラバス奏者/作曲家】1955年、東京生まれ。上智大学非常勤講師。アヴィニョン国際コントラバスフェス、国際ベースト協会リッチモンド総会等での招待演奏。舞踊、演劇、美術、映像、書、邦楽、雅楽、能楽、タンゴ、ジャズ、ヨーロッパ即興、韓国の文化、アジアのシャーマニズムなど、様々なジャンルと積極的に交流。土方巽アスベスト館にて音と身体に関するワークショップ、身障者とのワークショップや演劇に参加。神奈川フィルハーモニック・オーケストラへ「ストーンアウト」オーケストラ版等作曲。



Tetsu Saitoh

齋 藤 徹

ドキュメンタリー撮影

青山 真 治

北九州市出身。福岡県立門司高等学校を経て、1989年立教大学文学部英米文学科卒業。立教大学映画研究会出身。在学中は蓮實重彦に学ぶ。卒業後フリーの助監督として、ダニエル・シュミット、黒沢清などにつく。1995年オリジナルビデオ「教科書にないッ!」で初監督。地元、北九州市の門司を舞台にした「Helpless」で商業映画デビュー。2000年、監督作品「EUREKA」で、カンヌ国際映画祭国際批評家連盟賞・エキュメニク賞を受賞。再び地元ロケで製作した「サッド ヴェアケイション」(浅野忠信/石田えり/宮崎あおい)の若戸大橋が記憶に新しい。

9 September
26 (土)

「北九州市立松本清張記念館」
屋外特設ステージ 北九州市小倉北区内2番3号
(Tel 093-582-2761)

開場 18:00 / 開演 18:30
記念館は18時で一旦閉館しますので、ご見学の方はお早めどうぞ (別途有料)
http://t-etc.net/breath_passageFUKUOKA.htm

公演当日にはセッションの模様をドキュメンタリー作品として撮るために撮影隊が入ります。客席も写り込む場合がありますが、あらかじめご了承ください。

前売 4,000円 / 当日 4,500円 ※小・中学生は お問い合わせ下さい **雨天決行!**

予約・問い合わせ
Tel 093-873-7460
E-mail tanise@har.bbq.jp

チケット取り扱い: ローソンチケット **Lコード 84452**

★ローソンでご購入のお客様は、当日、学生割引やご予約のお客様より先にご入場頂けます。全席自由ですが、舞台に近い方にローソンエリアを設けます。

プレス・パッセージFUKUOKA実行委員会
委員 長/藤井康栄 (北九州市立松本清張記念館館長)
事務局長/谷瀬末紀 (ヒカラック代表)
実行委員/飯田美加・畑間大一郎・花田伸一 (キュレーター)・吉武あゆみ (しおま茶屋主宰)

生涯にわたる健康支援と地域医療と福祉を考える
医療法人ふらて会・社会福祉法人ふらて福祉会
理事長 西野 憲史

〒815-0013 北九州市八幡東区山路松尾町13-27
Tel : 093-653-2122 Fax : 093-653-2666



おしゆつやまのピアノ店
調律師

江里口ピアノ調律技術

北九州市八幡西区黒崎城石3-6 TEL./FAX. (093) 622-1900